

三方良し 夢と笑いで地域・利用者・職員をつなぐ

社会福祉法人 青嵐会 夢うさぎ (秋田県由利本荘市)

■「地域と手をつなぐ医療」の経験を福祉サービスでも提供

秋田県由利本荘市の社会福祉法人青嵐会 夢うさぎは、2014年6月に開設された介護老人福祉施設で、特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスの3事業を一体運営している。設立母体は、本荘第一病院を中核とした地域総合医療福祉グループの社会医療法人青嵐会である。「地域と手をつなぐ医療」の経験を福祉サービスにも広げながら、市民の安全安心な生活の支えとして、地域になくてはならない存在になっている。

同法人は、秋田県が推進している「介護サービス事業所認証評価制度」(以下、認証評価制度)を県内の他法人に先駆けて取得した。法人の運営を担う施設長の保坂一弘氏に、職員が安心して働ける職場づくりの取り組みと、「地域」「利用者」「職員」をつなぐ秘訣について話をうかがった。

■開設の苦労も「笑顔」で乗り切る法人の風土

夢うさぎは今年で開設5年と、まだ新しい施設である。青嵐会グループとしても特別養護老人ホームの開設は初めての経験であったことから、開設準備からオープン当初にかけては失敗や苦労の連続だったという。保坂施設長は「当時はそうした苦労を『笑い』や『笑顔』で『パワー』に変え、無我夢中で難局を乗り切ったと聞いている。その背景には、職員達の並々な熱意や努力があったことはもちろんのこと、初代理事長(本荘第一病院創業者の小松寛治氏)から現理事長(小松大芽氏)に受け継がれている、『笑顔を大切に』風土がしっかりと根付いていることも非常に大きい」と語る。

当法人の理念は『夢 笑』。明るく楽しく、笑顔あふれる環境づくりを合言葉にしている。これは風土として根付いている「地域貢献を優先する」、「困った人を助ける」といったことと併せ、法人の基礎となっている。

■認証評価制度への参加

認証評価制度は、介護サービス事業所において職

員が長く安心して働きやすい環境を作ることで職員の確保・定着につなげることを趣旨としている。職員不足は業界の共通課題であるが、同法人でもかつては離職率が高く、安定した介護サービスの提供が困難な時期があった。そうしたなか、保坂施設長は「まずは介護をする職員を大切に、職員の確保と定着を図ることが経営の最重要課題」と認識し、課題解決のためには強い変革の志と発信が必要との思いから、2017年9月、認証評価制度へ参加宣言をした。



堀井副知事から認定書を授与される保坂施設長

■職員が安心して長く働ける職場づくり

認証取得に向けて最初に着手したのは、有給休暇制度の見直しだった。同制度の見直しは、ともすればコストの増加を伴うため、協議は難航した。しかし、職員に気持ち良く働いてもらうことを最優先に考えた結果、中途採用者も含めて有給休暇付与起算日を毎年4月1日に統一。更に年間2回のメモリアル休暇も新設した。この制度によって、まとまった休暇の取得が可能になり、念願だった海外旅行に行った職員からは「まさか介護の仕事しながら、海外旅行に行けるとは夢にも思わなかった」と感激の言葉が寄せられたという。保坂施設長は「こうしたことは制度面の整備だけではなく、職員同士の理解と協力がなければできない。お互いに協力し、譲り合いながら希望の休暇を取得できる雰囲気ができることを嬉しく思う」と成果を実感している。

また、人材の育成に関しては、資格取得支援の制度化に取り組み、初任者研修受講料や介護福祉士資格習得費用を補助し、受講・試験日を勤務日扱いす

ることとした。職員は自己研鑽・レベルアップに向けて前向きに取り組むことが出来るようになり、法人全体の介護力向上にもつながっている。

こうした取り組みについて保坂施設長は「職員が気持ち良く働ける環境を整えるためにはどれも必須の取り組みであるが、形式的な制度面の整備だけで善しとせず、真に職員が働きやすい職場だと実感してもらえよう、更に実効性のある充実した運用に努めていきたい」と語り、「認証取得は決してゴールではなく、ようやくスタートに立てた」という謙虚な気持ちを示した。

■法人が一体となった取り組みで理念を共有

当法人では、年度途中で入職する職員も多い。そうした入職時期が異なる職員ができるだけ早く職場に溶け込み、法人の理念や雰囲気を理解できるよう配慮がなされている。

毎年4月1、2日に実施される青嵐会グループ全体の合同入職式やオリエンテーションには、途中入職の職員も必ず出席させている。勤務シフトを調整してでも全員を出席させるのは、「こうした場で学ぶ法人の理念や歴史、新入職員全員で学ぶ体験が、日々の業務において自信や励みとなって顕著に現れるから」という。

このほか、春の新人歓迎観桜会、夏のビアパーティ、冬のクリスマス大忘年会といったグループ全体のアットホームなイベントは、単に楽しむ場ではなく、病院や老健施設、医師や看護師などさまざまな業種や職種、職位の方々と話せる、自前の包括ネットワーク構築の場ともなっている。



「忘年会」は職員による「吉田輝星物語?!」

■日々の生活に溶け込む地域活動

地域活動や地域連携は社会福祉法人に課された重要な使命であるが、それは一朝一夕でできるものではない。当法人では、ゴミや雑草の処理など生活に根ざした地域課題について、地域住民と多くの会話を持つよう心がけている。そうした日々の積み重ね

もあり、最近では町内会や敬老会の行事に招待されたり、当施設が町内の盆踊り会場になったりと、地域との関係が深まっている。地域住民に法人の考え方や施設を身近に感じてもらうことで、生活相談から施設入居に結び付いた例もあるという。また、施設がある石脇地区とは災害時の避難所協定を結び、共同で防災避難訓練を実施するなど、まさに地域の生活と一体となった取り組みも評価されている。



夢うさぎ 外観

■職員の笑顔で地域への恩返し

保坂施設長は「当法人は開設5年とまだ歴史は浅いが、職員の努力や理解、地域の方々のご協力もあり、着実に足固めが進んでいる。『夢うさぎ』という施設名には『うさぎのように常に飛躍する』という願いも込められている。明日の飛躍につながる歩みを一歩ずつ地道に積み重ね、職員が働きやすい環境を作っていく」と今後の抱負を語った。そして地域に対しては、「介護施設を利用する(させる)ことに抵抗感をお持ちの方もいるが、当施設では、デイサービスからショートステイ、特養と、介護度の軽重にあったサービスを提供できる環境が整っている。地域との関わりの中で気軽に施設見学・体験をしてもらい、すでに根付いている医療の安心を土台とした介護サービスをご利用いただきたい」と語った。その言葉からは、「笑顔で働ける環境があれば、職員の笑顔で地域へ恩返しができる」といった、『地域・利用者・職員の三者の幸福』を追求する当法人の熱い姿勢が感じられた。

(フィデア総合研究所 佐藤美里)

社会福祉法人 青嵐会

理事長 小松 大芽

所在地：由利本荘市石脇字石ノ花194-230

開設：2014(平成26)年6月1日

事業所：特別養護老人ホーム 夢うさぎ (定員50名)

短期入所生活介護 夢うさぎ (定員20名)

通所介護 夢うさぎ (定員20名)

従業員数：54名(2019年3月現在)